

Searching PAJ

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 61-006901  
(43) Date of publication of application : 13.01.1986

(51) Int.CI.

H01P 1/18

(21) Application number : 59-127763

(71) Applicant : KOKUSAI DENSHIN DENWA CO

LTD < KDD >

NIPPON KOSHUHA KK

(22) Date of filing : 21.06.1984

(72) Inventor : SHIOKAWA TAKAYASU

KARASAWA YOSHIO

TOMIMATSU JUNICHI

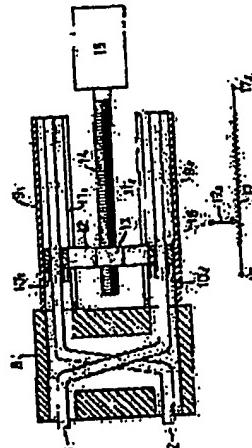
KASHIWAGI ATSUSHI

### (54) VARIABLE PHASE SHIFTER

#### (57) Abstract:

PURPOSE: To decrease the input power standing wave ratio and also to increase the variable phase shift quantity by connecting a coaxial guide to two output terminals of a hybrid coupler so as to short-circuit an inner/outer conductor of a coaxial waveguide at an optional position.

CONSTITUTION: The coaxial guides 91, 92 are fitted to two output terminals of the hybrid coupler 8 and the outer guide and the inner conductor of the coaxial guide are short-circuited by short circuit plates 101, 102. Both the short-circuit plates 101, 102 are connected by a connecting plate 12 through slots 111, 112 made to both the coaxial guides 91, 92. A female screw 13 is provided to the connecting plate 12, the connecting plate 12 is forwarded/reversed by the turning of a screw rod 14 screwed to the female screw 13 so as to slide the short-circuit position of both the coaxial guides. The turning of the screw rod is given by a motor 15.



BEST AVAILABLE COPY

#### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of  
rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2003 Japan Patent Office

⑤日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

①公開特許公報 (A) 昭61-6901

⑥Int.Cl.  
H 01 P 1/18

識別記号  
7741-5J

③公開: 昭和61年(1986)1月13日

審査請求 有 発明の数 1 (全4頁)

④発明の名称 可変移相器

⑤特 順 昭59-127763

⑥出 願 昭59(1984)6月21日

⑦発明者 塩川 孝 琴 東京都目黒区中目黒2丁目1番23号 国際電信電話株式会社研究所内

⑦発明者 唐沢 好 男 東京都目黒区中目黒2丁目1番23号 国際電信電話株式会社研究所内

⑦発明者 富松 純 一 相模原市田名6295

⑦発明者 柏木 厚 相模原市上溝2034-15

⑦出願人 国際電信電話株式会社 東京都新宿区西新宿2丁目3番2号

⑦出願人 日本高周波株式会社 横浜市緑区中山町1119

⑧代理人 弁理士 福田 劍

明細書

1. 発明の名称

可変移相器

2. 特許請求の範囲

(1) 2個の出力端子を有し、そのおのおのに入力信号電力レベルの約1/2つで、かつ80度の位相差を有する信号を取り出すハイブリッド結合器の該端出力端子に、それぞれ平行に向転管を接続し、それら各回転管の外管に對向して筋に沿う溝を彫り、各回転管の内外導体被覆板を前記溝に沿った遮蔽板で結び、その遮蔽板の歯ネジに電動機で駆動駆動部の駆動片を運動させ、この駆動駆動部の固定端子に一定の電圧を印加しておく構成としたことを特徴とする可変移相器。

3. 発明の詳細な説明

(実施上の利用分野)

本発明は通常可変移相器の改良に関するものである。

(従来の技術)

従来、直線的に高周波信号の位相を変化させる移相器として、種々の形式が使用されて来た。伝送線路の長さを直線的に変化させれば目的を達成できるので、初期には第1図のいわゆるU字形ライン・ストレッチャが使用された。

第1図中、1は入力端子、2は出力端子、3は入力回転管の外管、3<sub>z</sub>は内管、4<sub>1</sub>、4<sub>2</sub>はそれぞれ出力回転管の外管と内管である。これらの先端にU字形の回転管を押入し、その外管3<sub>1</sub>と内管3<sub>2</sub>の先端はそれぞれ入出力回転管の外管内部および内管の外部に接触させている。

従って、このU字回転管をXmm移動させれば、入出力端子1、2間の回転距離はその2倍変化させることができるから、使用最低周波数に相当する波長の(λ)の回転範囲を持たせれば、0~1波長の位相変化を可能とすることができる。しかしこの方程式の欠点はU字回転管の特性インピーダンスを入出力回転管と一致させることができない。従って、入力電圧定在波比が悪くかつ大幅に

なることである。

そこで、特に小形にする目的から、第2図の如く、ハイブリッド回路とパラクタ・ダイオードを組み合せたものも使われている。回路はハイブリッド回路の1種であるブランチ・ライン回路6の出力端子6<sub>1</sub>、6<sub>4</sub>にパラクタ・ダイオード7<sub>1</sub>と7<sub>2</sub>を接続したものである。

第3図はこの動作原理を説明するもので、今入力端子6<sub>1</sub>に単位入力1が入ると、出力端子6<sub>3</sub>にはA+1×、出力端子6<sub>4</sub>にはJ B+J Xの出力が現われる。

今両出力端子6<sub>3</sub>、6<sub>4</sub>に接続されているパラクタ・ダイオードの特性が完全に一致して、その反射係数と共にT<sub>1</sub>とすると、ダイオードからの反射は「A+1×およびJ B+J Xとなる。この反射電力もそれぞれ2分されて端子6<sub>3</sub>と端子6<sub>4</sub>に現われる。まず、入力端子6<sub>1</sub>に出現する出力は、端子6<sub>3</sub>からの反射波分(T A<sup>2</sup>+J<sup>2</sup> X)と端子6<sub>4</sub>からの反射波分(-T B<sup>2</sup>+J<sup>2</sup> X)の和即ちT(A<sup>2</sup>-B<sup>2</sup>)+J<sup>2</sup> Xとなる。

故に移相器の出力端子6<sub>2</sub>(+2)に現われる信号は、その振幅が入力端子6<sub>1</sub>(+1)の入力信号に等しく、位相はパラクタ・ダイオードの等価静電容量Cの変化に伴なって(3)式のように変化する。

また、3dBハイブリッドが完全ならば、入力端子に現われる反射波信号はゼロになり、小形に作られる特徴があるが、パラクタ・ダイオードの等電容量の変化範囲の限界等から、電気角で印度程度が限界となりダイオードの抵抗分のために損失が大きく、その上等相量を10度以上とするためには数段直列に接続する必要がある、特に挿入損失が大きくなる。

#### (発明が解決しようとする問題)

本発明は上記に述べて検討されたもので、入力電力一定在波比および挿入損失が小さく、移相量の大きな可変移相器を小形軽量化を得ることを目的とする。

#### (問題点を解決するための手段)

本発明は2種の出力端子を有し、そのおのおの

#### 特開昭61-6301(2)

なる。また端子6<sub>1</sub>に現われる端子6<sub>3</sub>からの反射分は(J T A B+J<sup>2</sup> X)、端子6<sub>4</sub>からの反射分も(J T A B+J<sup>2</sup> X)となるので、その合成波は(J 2 T A B+J<sup>2</sup> X)となる。

今ハイブリッド内の損失をゼロとすれば(A<sup>2</sup>+B<sup>2</sup>=1)となり、またハイブリッド特性が完全でA=B=1/J<sup>2</sup>とすれば、入力端子6<sub>1</sub>(+1)に現われる反射波はゼロとなり、移相器の出力端子6<sub>2</sub>(+2)には(1)式の出力波が現われる。

$$t = J T + J^2 X \dots \dots (1)$$

回路の特性インピーダンスをZ<sub>0</sub>、母号の各回路数をn、パラクタ・ダイオードの等価静電容量をCとする、その基準化リアクタンスXは

$$x = 1/(n C Z_0) \dots \dots (2)$$

となるから、この反射係数Tは

$$T = \frac{J X - 1}{J X + 1} = \frac{-1 + J X}{1 + J X} = \frac{-(1 - J X)^2}{1 + X} = -1 < 0$$

後にtanθ=2X/(X<sup>2</sup>-1)となり、次って、

$$\cos\theta = 1/\sqrt{1+\tan^2\theta} = (X^2-1)/(X^2+1)$$

$$\theta = \cos^{-1}((X^2-1)/(X^2+1)) \dots \dots (3)$$

に入力信号電力レベルの約1/2で、かつ10度の位相差を有する信号を取り出すハイブリッド結合器の該両出力端子に、それぞれ平行に両軸管を接続し、それら各両軸管の外管に対向して動に沿う管を立ち、各両軸管の内外導体組結板を前記側を通した遮蔽板で結び、その遮蔽板のねじねじに電動機で回転駆動されるねじねじを総合すると共に遮蔽板に電動機駆動の遮蔽片を駆動させ、この遮蔽片が固定端子に一定の電圧を印加する構成とした可変移相器である。

#### (作用)

本発明は上記の構成であるから、電動機でねじねじを回転させると、遮蔽板が前後駆動して遮蔽板で隠された各両軸管の内外導体組結位置を変化させ、高周波入力信号の位相を変化させる。また、上記遮蔽板の移動に駆動して遮蔽片駆動片が移動し、この遮蔽片電圧は両軸管組結位置と一一一の対応を示すことになる。

そこで、例えば、初期電圧と前記駆動片電圧とを作動増幅器に送り、この出力電圧で前記電動機

を回転させ出力電圧が零になったとき電動機の回転を止めるようにして、外端からの部荷電圧により各回転管の内外部短絡位置、従って、高周波入力信号の位相を変化させるものである。

#### (実施例)

第4図は本発明の実施例説明図である。3dBハイブリッド結合器としては、第2図に示すブランチ・ライン結合器の使用もできるが、より電気的特性の良好な(2)改良分布結合形ハイブリッド回路8を使用した。これは主線路と副線路を交叉させて結合器の2側の出力端子が同一方向に取り出せるようとする。この出力端子に2個の回転管9<sub>1</sub>、9<sub>2</sub>を取り付け、この外管と内導体とは、遮蔽板10<sub>1</sub>、10<sub>2</sub>で短絡する。そしてこの両遮蔽板は、両回転管に穿たれた孔11<sub>1</sub>および11<sub>2</sub>を通して遮蔽板12で結ばれている。遮蔽板12には、ねじ13が取付られており、このねじ13にねじ込まれたネジ棒14の回転で遮蔽板12が前後走し、両回転管の短絡位置が駆動される。ネジ棒14の回転は電動機15によって与

えられる。

一方可変抵抗器17の回転片17<sub>1</sub>は遮蔽板16によって機械的に遮蔽板12と連結し、回転管9<sub>1</sub>、9<sub>2</sub>の短絡位置と連動してその位置が移動する。この可変抵抗器17の固定端子17<sub>2</sub>と17<sub>3</sub>には適当な直流または交流の電圧が印加されているので、回転片17<sub>1</sub>の電圧は、回転管短絡位置と一一の一対応を示すことになって前記の如く作用する。

本発明の実施例の動作原理も前記第3図で説明され、(2)式に相当する短絡回転管9<sub>1</sub>、9<sub>2</sub>の入力基準化リアクタンスXは、基準点から短絡位置までの長さをLとして、

$$X=1/(2\pi L/f)=1/(cL/V_0) \dots \dots (4)$$

となる。式中のLは倍母の長さ、V<sub>0</sub>は光速である。

この基準化リアクタンスXを(3)式に代入すれば、移相量が求められるが、長さLの変化による基準化リアクタンスXの変化範囲は-∞から+∞までとなり得るので、360度の移相も容易にできる。例えば移相量が90度とすれば、(2/L)の

値は0.125である。

#### (発明の効果)

以上、本発明の逐段可変移相器の特徴を掲げれば、次のようになる。

1. 入力電圧定在比が小さい。ライン・ストレッチャ形では1.5以上となるが、本発明では1.1以内に納め得る。
  2. 印入損失が小さい。パラクタ・ダイオード方式ではダイオードの損失のために、一段で最大移相量10度以内でも、0.8~0.7dBの印入損失を示すが、本発明の移相器では移相量30度以上で印入損失は0.3dB以下である。
  3. 移相量が大きい。パラクタ・ダイオード方式では1段当たり10度が限界だが、本発明の移相量ではこの制限がない(短絡距離を長くすればよい)。
  4. 小形軽量である。移相量がある程度よりも大きいとき、一段で済むことから、パラクタ・ダイオード方式より反って小形となる。
- またライン・ストレッチャでは全長が駆動長の2倍以上となるから、本発明の方、が小さい。
- 本発明による可変移相器は、上述の特徴があるためシステムの小型化、軽量化、低損失化が強く望まれる各種移動衛星通信等への適用が充分に期待できる。
- #### 4. 図面の簡単な説明
- 第1図はU字形ライン・ストレッチャを使用した従来の移相器の断面構成図、第2図はパラクタ・ダイオードを使用した移相器の構成図、第3図は回路図説明図、第4図は本発明による可変移相器の概略構造を示す断面図である。

1は入力端子、2は出力端子、3<sub>1</sub>、4<sub>1</sub>は入出力回路管外管、3<sub>2</sub>、4<sub>2</sub>は内導体、5<sub>1</sub>、6<sub>1</sub>はU字形ライン・ストレッチャの外管および内導体、8はブランチ・ライン用3dBハイブリッド回路、6<sub>2</sub>、6<sub>3</sub>、6<sub>4</sub>、6<sub>5</sub>はその端子、7<sub>1</sub>、7<sub>2</sub>はパラクタ・ダイオード、8は3dB分布結合形ハイブリッド回路、9<sub>1</sub>、9<sub>2</sub>は回転

特許昭61-6901(4)

管、10<sub>1</sub>、10<sub>2</sub>は遮蔽管、11<sub>1</sub>、11<sub>2</sub>は  
導線、12は遮蔽板、13は締ネジ、14はネジ  
栓、15は電気端子、16は機械的連結板構、17  
は可変抵抗器、17<sub>1</sub>、17<sub>2</sub>は抵抗器固定端  
子、17<sub>3</sub>は回路端子。

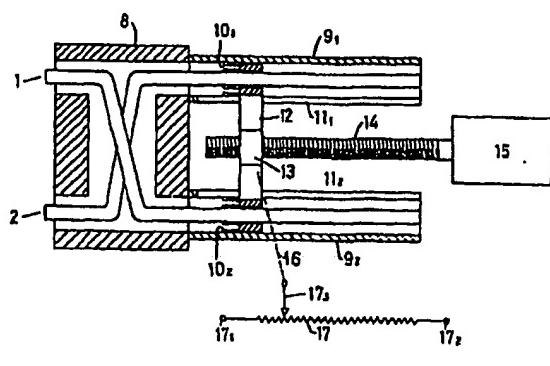
特許出願人 国際電信電話株式会社

代理人 日本高周波株式会社

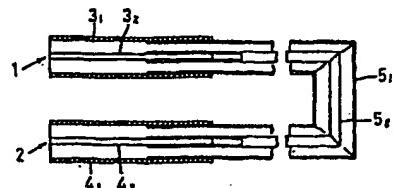
代理人 楠田



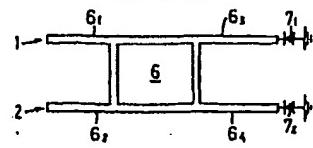
第4図



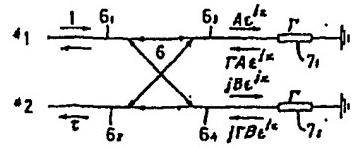
第1図



第2図



第3図



(11) Publication number: S61-6901

(19) The Patent Agency of Japan (JP)

(12) Official Patent Gazette (A)

(43) Date of publication of application: January 13, 1986

(51) Int. Cl.4 H01P 1/18

Request of Examination: Examination requested. Number of invention: 1

---

(21) Application No.: S59-127763

(22) Filed: June 21, 1984

(72) Inventor: Takayasu Shiokawa  
c/o Kokusai Denshin-Denwa, Inc. Lab.  
1-23, Nakameguro 2-chome, Meguro-ku, Tokyo

(72) Inventor: Yoshio Karasawa  
c/o Kokusai Denshin-Denwa, Inc. Lab.  
1-23, Nakameguro 2-chome, Meguro-ku, Tokyo

(72) Inventor: Junichi Tomimatsu  
6295 Tana, Sagamihara City

(72) Inventor: Atsushi Kashiwagi  
2034-15, Kamimizo, Sagamihara City

(71) Applicant: Kokusai Denshin-Denwa, Inc.  
3-2, Nishi-Shinjuku 3-chome, Shinjuku-ku, Tokyo

(74) Patent Attorney: Kan Fukuda

**1. (54)[Name of invention] Variable Phase Shifter**

**2. [Area of Patent Claims]**

The variable phase shifter that has two output terminals incorporated. Connecting the coaxial tubes in parallel to the terminals of taking out the signals of approximately 1/2 of power level of input signal with 90 degree differential phase of Hybrid Combiner, and connecting inner and outer conducting plates of those coaxial tubes respectively through the connecting plates through structure above, connect the screwed pole connected by the rotator of electric motor to the those female screws of the connecting plates and connecting brush contacts of the variable resistors, and apply fixed voltages to the fixed terminals of the variable resistor for positioning controls. The variable phase shifter has above feature and structure.

**3. [Details of the Invention]**

**[Industrial Application]**

This invention is concerning to the improvement of continuous variable phase shifter.

**[Current Technology]**

Currently, some different kinds of types are used as phase shifter for changing the phases of the signals of the high frequency continuously. Changing the length of the transmitting circuit continuously that will reach to the purpose. At the beginning, the Fig. 1 so called U style Line Stretcher was used. In the Fig. 1, the symbol 1 is input terminal, symbol 2 is output terminal, symbol 3<sub>1</sub> is outer conductor of the coaxial tube, symbol 3<sub>2</sub> is inner conductor of the coaxial tube, 4<sub>1</sub> and 4<sub>2</sub> are same as above of output terminal. Insert each edges of the U style coaxial tubes to the edged of these tubes that contacts each edges of the outer conductor 5<sub>1</sub> and inner conductor 5<sub>2</sub> to the inside of the outer conductor and outside of the inner conductor.

Accordingly, moves X mm U style coaxial tube that will changes the length of the input and output terminals 1 and 2 that will changes the length of the coaxial lines by 2 times larger. So, changes the phase of 0~1 wave can be made when the resistance range equivalent to the (1/2) wave of the applicable lowest frequency. However, negative issue of this U style coaxial tube is that the impedance can not be match with input and output coaxial tubes. Consequently, input voltage standing wave ratio is going to be poor and physical size of the phase shifter is going to be large.

Thus, to the purpose especially down sizing, the combination of the hybrid circuit and the varactor diode as in the Fig. 2 are used. Fig. 2 is the circuit consists by connecting the varactor diodes 7<sub>1</sub> and 7<sub>2</sub> to the output terminals 6<sub>3</sub> and 6<sub>4</sub> of branch line that is a kind of hybrid circuit. Fig. 3 is equivalent circuit for explanation of working principal. Supply signal 1 into input terminal 6<sub>1</sub>, appears  $Ae^{jX}$  at output terminal 6<sub>3</sub> and  $jBe^{jX}$  at output terminal 6<sub>4</sub>.

Match the characteristic of the varactor diodes connected to the output terminals 6<sub>3</sub> and 6<sub>4</sub> completely, state both of its reflection coefficient as  $\Gamma$ , the reflection from diode will be  $\Gamma A e^{jX}$  and  $j\Gamma B e^{jX}$ . These reflected powers will be appeared with divided by 1/2 on the terminals 6<sub>1</sub> and 6<sub>2</sub>. Firstly, the output to be appeared at the input terminal 6<sub>1</sub> will be  $\Gamma(A^2 - B^2) e^{j2X}$  that is sum of reflection ( $\Gamma A^2 e^{j2X}$ ) from terminal 6<sub>3</sub> and reflection ( $-j\Gamma B^2 e^{j2X}$ ) from terminal 6<sub>4</sub>. Also, the reflection from terminal 6<sub>3</sub> to be appeared at the terminal 6<sub>2</sub> will be  $(j\Gamma A B^2 e^{j2X})$ , from terminal 6<sub>4</sub> will be  $(j\Gamma A B^2 e^{j2X})$  that sum of vector will be  $(j2\Gamma A B^2 e^{j2X})$ .

Supposed loss inside hybrid as zero, it will be  $(A^2 + B^2 = 1)$ . Also, supposed the characteristic of hybrid is perfectly  $A = B = 1/\sqrt{2}$ , the reflecting wave to be appeared at the input terminal 6<sub>1</sub> (#1) will be zero and following output wave  $\tau$  will be appeared at the output terminal 6<sub>2</sub> (#2) of phase shifter.

$$\tau = j\Gamma e^{j2X} \dots \dots \dots (1)$$

Supposed to state the characteristic impedance of circuit lines as  $Z_0$ , respective frequencies of signals as  $\omega$ , equivalent static capacitance of varactor diode as  $C$ , the referenced reactance  $X$  will be;

$$X = -1 / (\epsilon C Z_0) \dots \dots \dots (2)$$

The reflection coefficient  $\Gamma$  will be;

$$\Gamma = \frac{jX - 1}{jX + 1} = \frac{-1 + jX}{1 + jX} = \frac{-(1 - jX)^2}{1 + X} = -1 < 0$$

$$\text{Therefore, } \tan \theta = 2X / (X^2 - 1)$$

Accordingly,

$$\cos \theta = 1 / \sqrt{1 + \tan^2 \theta} = (X^2 - 1) / (X^2 + 1)$$

$$\theta = \cos^{-1} \{ (X^2 - 1) / (X^2 + 1) \} \dots \dots \dots (3)$$

Therefore, the signal to be appeared at output terminal 6<sub>2</sub> (#2) of phase shifter will be equal its amplitude to the input signal of input terminal 6<sub>1</sub> (#1), the phase will be changed per formula (3) above in accordance with the changes of the equivalent static capacitance  $C$  of varactor diode.

Also, supposed 3 dB hybrid is perfect, the reflecting signal to be appeared at input terminal will be zero that phase shifter can be made by small size. However, electrical tilt approx. 40 degree is limit due to the limitation of the range of the variation of the static capacitance of varactor diode that is large loss due to the resistance of the diode. Moreover, especially input loss will be greater that some series connections are required for controlling phase range higher than 90 degree.

**[The Subject of Solving by Invention]**

This invention has been submitted for considering to the above matter that the purpose of the variable phase shifter can be low insertion loss, low voltage standing wave ratio, large phase range controls, small size and light weight.

**[Solving Method of the Subject]**

The variable phase shifters that has two output terminals incorporated. Connecting the coaxial tubes in parallel to the terminals of Taking out the signals of approximately 1/2 of power level of input signal with 90 degree differential phase of Hybrid Combiner, and connecting inner and outer conducting plates of those coaxial tubes respectively through the connecting plates through structure above, connect the screwed pole connected by the rotator of electric motor to the those female screws of the connecting plates and connecting brush contacts of the variable resistors, and apply fixed voltages to the fixed terminals of the variable resistor for positioning controls. The variable phase shifters have above structures.

**[ Function ]**

This invention is structured as above. Rotate screw by motor, connecting plate will be actuated to forward or backward that changes positions of the outer and inner conductors of each coaxial tubes that changes the phase of the high frequency input signals. Also, in conjunction with connection of the connecting plate and rotator of the variable resister, moves rotator of the variable resister that voltage at the rotator will indicate response 1:1 to

the position of the short-circuit plate of the coaxial tubes. So, for example, guide the controlled voltage and the voltage of the rotator of the variable resister to the differential amplifier. Then, operate motor mentioned above by the output voltage of the differential amplifier with setting the motor shall stop rotation when output voltage is zero that shall short positions outer and inner conductors of each coaxial tubes, changes the phase of the high frequency input signals accordingly.

### [Operation Example]

Fig. 4 is perspective diagram as a example of the invention. The branch Line combiner per Fig. 2 can be used for the 3 dB hybrid combiner, but used rather high electrical performance ( 1/4 ) wave length distribution coupling type hybrid circuit 8. This circuit shall cross the main line and sub line that can produce two terminals of the combiner to one same side. Attach two coaxial tubes to these output terminals. These outer conductor and inner conductor shall be shorted by the short-circuit plates 10<sub>1</sub> and 10<sub>2</sub>. These two short-circuit plates are held by the connecting plate 12 through groves made in the both coaxial tubes. There is female screw pitch 13 on the connecting plate. The screwed pole 14 into female screw pitch 13 shall moves forward and backward connecting plate that positions shall short the both coaxial tubes. The rotation torque of the screwed pole 14 shall be given by the motor 15. Besides, the rotor terminal 17<sub>3</sub> of the variable resistor 17 is mechanically connected with connecting plate 12 through connecting mechanism 16 that its position shall be moved in conjunction with positions of the coaxial tubes 9<sub>1</sub> and 9<sub>2</sub>. Supplies appropriate DC or AC voltages to the fixed terminals 17<sub>1</sub> and 17<sub>2</sub> of the variable resistor, the voltage of the rotor of variable resistor 17<sub>3</sub> shall be activated as above due to the response of 1:1 to the positions of the short-circuit plates of the coaxial tubes.

The operating theory of practical operation example is also confirmed by the Fig. 3. The input reference reactance  $X$  of the shorted coaxial tubes  $9_1$  and  $9_2$  meets to the formula (2) shall be length  $l$  of reference point and position of the short circuit that is indicated by following formula

$\lambda$  is wave length of signal.  $V_c$  is speed of the light. Insert this referenced reactance  $X$  into formula (3) that phase can be obtained, and the variation range of the referenced reactance  $X$  by the changes of the length  $l$  will be from  $-\infty$  to  $+\infty$  that can make 360 degree phase easily. For example at phase shift as 90 degree, the value of  $(1/\lambda)$  may 0.125.

### [Effect of the Invention]

The features of this invention will be as follows

1. Low V.S.W.R. at input. The line stretcher type is higher than 1.5, but this invention will be within 1.1.
  2. Low insertion loss. The varactor diode type will loose 0.6~0.7dB of insertion loss even within Maximum phase shift 40 degree due to loss of the diode. The insertion

loss of phase shifter of this invention will be less than 0.3 dB even phase shift bigger than 90 degree.

3. Large phase shift. Maximum 40 degree at one stage in case of varactor diode method.

S61-6901

- . There is no limit of phase shift under this invention. (Extend length of short connecting lines.)
4. Small size and light weight. One stage shall be done when phase shift is larger than some volume that makes smaller size compared with varactor diode type. Also, total length at line stretcher will be two times bigger of effective movement that this invention is smaller.

The variable phase shifter under this invention has above features. Therefore, applications to the various mobile satellite communications can be expected that communications desire down sizing and light weight of systems.

**[Simple Explanation of the Drawings]**

[Fig. 1] is explaining mechanical drawing of the current phase shifter using U type line stretcher.

[Fig. 2] is showing diagram of the phase shifter using varactor diodes.

[Fig. 3] is showing explanation of the equivalent circuit.

[Fig. 4] is showing mechanical drawing of the variable phase shifter under this invention.

- 1: Input Terminal.
- 2: Output Terminal
- 3<sub>1</sub> & 4<sub>1</sub>: Input & Output Outer Conductors of Coaxial Tubes.
- 3<sub>2</sub> & 4<sub>2</sub>: Inner Conductors of Coaxial Tubes.
- 5<sub>1</sub> & 5<sub>2</sub>: Outer Conductor and Inner Conductor of U type Line Stretcher.
- 6: Branch Line type 3dB Hybrid Circuit.
- 6<sub>1</sub>, 6<sub>2</sub>, 6<sub>3</sub> and 6<sub>4</sub> are: Its terminals.
- 7<sub>1</sub> & 7<sub>2</sub>: Varactor Diodes.
- 8: 3dB Distribution Coupling type Hybrid Circuit.
- 9<sub>1</sub> & 9<sub>2</sub>: Coaxial Tubes.
- 10<sub>1</sub> & 10<sub>2</sub>: Short Contacting Plates.
- 11<sub>1</sub> & 11<sub>2</sub>: Groves
- 12: Connecting Plate
- 13: Female Screw
- 14: Screwed Pole
- 15: Motor
- 16: Mechanical Connecting Structure
- 17: Variable Resister

17<sub>1</sub> & 17<sub>2</sub>: Fixed Terminal of Variable Resister  
173: Rotor of the Variable Resister.

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER: \_\_\_\_\_**

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.